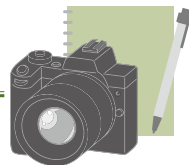


ゴールデンウィーク中のイベント取材してきました



今年のゴールデンウィークは3年ぶりに行動制限がなく、また後半は天気にも恵まれたこともあり、市内の各施設に多くの人を訪れました。そんなゴールデンウィーク中に行われたイベントを紹介します。

海浜水族館の大水槽前で、4月29日に碧南市在住のアーティスト天麻音ひいさんによるコンサートが初めて行われました。

照明が当たることにより、大水槽の水の流れがより穏やかに見え、また、小アジの群れやコショウダイやギンガメアジなど、サメ、エイがゆらゆらと泳ぐ姿はとても幻想的で、天麻音さんの歌声とラブドラムという楽器の音色も相まって、非日常的な空間が演出され、ゆったりと時間が流れました。



4/29
-金-

海浜水族館



5/1
-日-

5月1日には初めて、サメを実際に見て触って体の秘密を学ぶ「サメのからだ秘密探検」が行われました。

漁港で水揚げされたシロザメのヒレや歯の様子をじっくり観察した後、解剖し胃や肝臓などを観察します。そして、取り出した内臓や脳の重さも測り、ヒトとサメを比べました。

また、サメは種類により歯の形状が異なり、食べているものが違うことを学び、サメというだけで怖い生き物ではないことが分かりました。

あおいパークで4月30日に田植え体験が開催されました。

はじめは泥で汚れるのを嫌がっていた子どもたちでしたが、田植えを進めていくうちに、泥だらけになりながらも笑顔がいっぱいでした。

田植えでは、はじめはうまく苗を植えることができませんでしたが、最後には全員きれいに植えることができました。

秋にこの田んぼで収穫されたお米は、参加者全員に配られます。田植え体験を通して生産者の苦勞を知り、食の大切さを学ぶことができました。



4/30
-土-

あおいパーク



5/5
-木-

5月5日にはふれあい動物園が行われ、ヤギ、カメ、モルモット、ウサギなどいろいろな種類の動物を近くで見たりふれあうことができました。「カメの甲羅ツルツルしてる」「モルモットふわふわだね」など子どもたちは、普段触ることのない動物たちとのふれあいを楽しんでいました。

そして、ふれあい動物園の合間には猛禽フライトショーも行われました。観客の頭の上を飛ぶフウロウとタカは大迫力でした。